

# 平成 17 年国勢調査（第 1 次基本集計）の概要

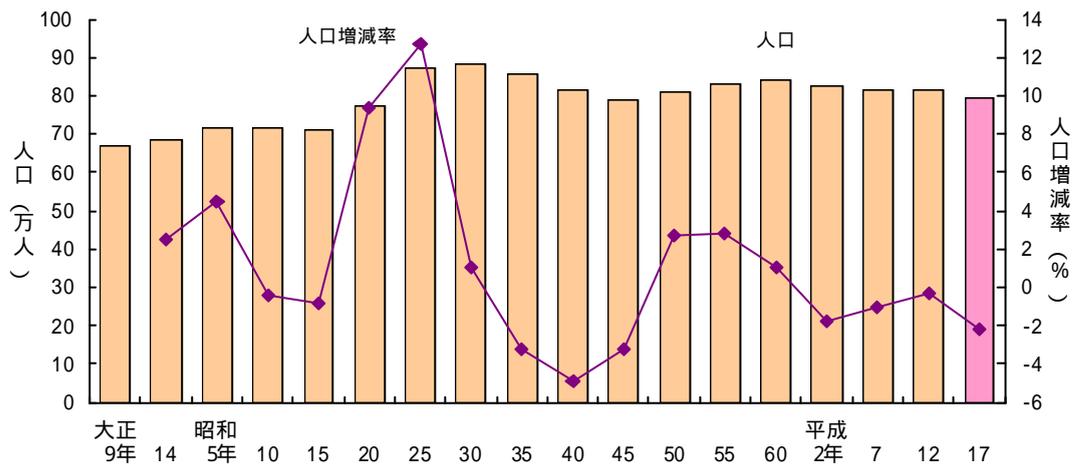
この概要は、平成 18 年 8 月 31 日総務省統計局において公表された、高知県の平成 17 年国勢調査（平成 17 年 10 月 1 日）の第 1 次基本集計結果（人口・世帯及び住居に関する結果並びに高齢世帯等に関する結果）を集約したものです。

## 1 人口

### (1) 人口総数

平成 17 年 10 月 1 日現在の県人口は、796,292 人で、前回調査（平成 12 年）に比べ 17,657 人、2.2%減少している。

人口及び人口増加率の推移



県人口の推移表

	総人口	男	女	前回との比較	
				実数	率 (%)
昭和 25 年	873,874	425,968	447,906		
30	882,683	429,175	453,508	8,809	1.0
35	854,595	411,162	443,433	28,088	3.2
40	812,714	386,725	425,989	41,881	4.9
45	786,882	372,014	414,868	25,832	3.2
50	808,397	383,538	424,859	21,515	2.7
55	831,275	396,418	434,857	22,878	2.8
60	839,784	398,408	441,376	8,509	1.0
平成 2 年	825,034	389,063	435,971	14,750	1.8
7	816,704	384,446	432,258	8,330	1.0
12	813,949	383,859	430,090	2,755	0.3
17	796,292	374,435	421,857	17,657	2.2

(2) 市町村別人口

平成 17 年 10 月 1 日時点の境域で市町村 (45 市町村) 別にみると、高知市が 333,484 人で最も多く、県の総人口の 41.9% を占めている。次いで南国市が 50,758 人 (同 6.4%)、四万十市が 37,917 人 (同 4.8%) となっており、最も少ないのは大川村の 538 人 (同 0.07%) となっている。

前回の調査と比べ人口が増加したのは、南国市、野市町、吉川村、春野町の 4 市町村で、他の 41 市町村では減少した。

(3) 男女別人口

人口を男女別にみると、男性が 374,435 人、女性が 421,857 人で、女性が 47,422 人多く、人口性比 (女性 100 人に対する男性の数) は、平成 12 年の 89.3 から 88.8 と低下している。

(4) 年齢別人口

人口を年齢別にみると、15 歳未満人口 (年少人口) は 102,421 人 (県人口の 12.9%)、15~64 歳人口 (生産年齢人口) は 487,367 人 (同 61.2%)、65 歳以上人口 (老年人口) は 206,375 人 (同 25.9%) となっている。

これを時系列でみると、年少人口は減少を続け、昭和 25 年と比べると約 35% になっている。逆に老年人口は増加を続け、昭和 25 年に比べると約 3.5 倍になっている。また、生産年齢人口は 50 万人台で推移していたが、今回 50 万人を割り込んだ。

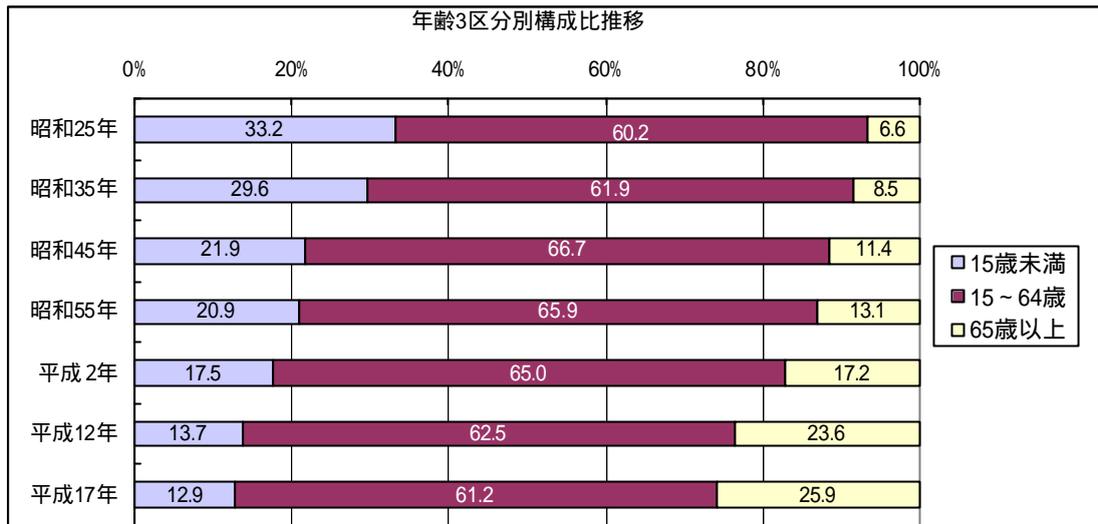
年齢別 (3 区分) 人口の推移

	総人口	15歳未満		15~64歳		65歳以上		年少人口 指 数	老年人口 指 数	従属人口 指 数
		人口	割合	人口	割合	人口	割合			
昭和25年	873,874	290,081	33.2	525,678	60.2	58,073	6.6	55.2	11.0	66.2
30	882,683	283,714	32.1	532,592	60.3	66,367	7.5	53.3	12.5	65.7
35	854,595	253,081	29.6	528,882	61.9	72,632	8.5	47.9	13.7	61.6
40	812,714	200,055	24.6	530,837	65.3	81,822	10.1	37.7	15.4	53.1
45	786,882	171,991	21.9	524,918	66.7	89,973	11.4	32.8	17.1	49.9
50	808,397	173,005	21.4	536,129	66.3	98,752	12.2	32.3	18.4	50.7
55	831,275	173,649	20.9	547,780	65.9	109,116	13.1	31.7	19.9	51.6
60	839,784	168,580	20.1	548,167	65.3	121,759	14.5	30.8	22.2	53.0
平成 2年	825,034	144,276	17.5	535,995	65.0	141,508	17.2	26.9	26.4	53.3
7	816,704	125,833	15.4	522,208	63.9	167,967	20.6	24.1	32.2	56.3
12	813,949	111,740	13.7	509,050	62.5	191,729	23.6	22.0	37.7	59.6
17	796,292	102,421	12.9	487,367	61.2	206,375	25.9	21.0	42.3	63.4

(注) 年少人口指数: 15~64歳人口に対する15歳未満人口の比率

老年人口指数: 15~64歳人口に対する65歳以上人口の比率

従属人口指数: 15~64歳人口に対する15歳未満及び65歳以上人口の比率



### (5) 配偶関係

15歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が61.1%、女性が52.9%、未婚率は男性が28.9%、女性が20.8%となっている。

## 2 世帯数

### (1) 世帯数、世帯人員

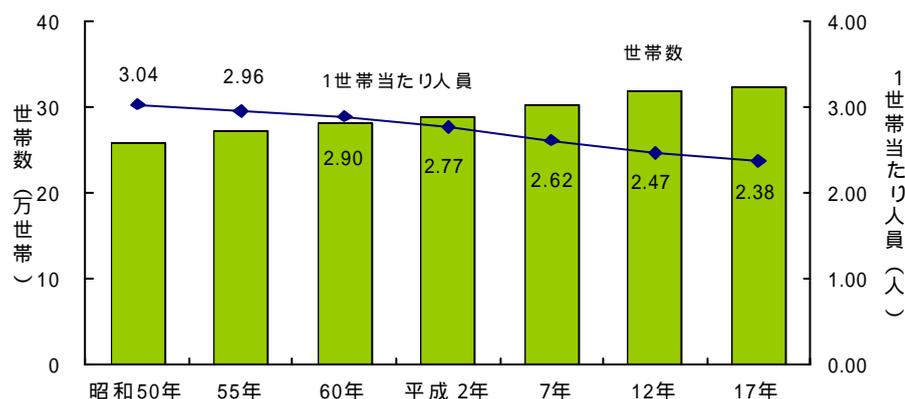
高知県の一般世帯数(総世帯数から施設等の世帯数及び不詳の世帯数を除いた数)は323,327世帯で、平成12年と比べ4,029世帯、1.3%増加している。

一般世帯の1世帯当たり人員は平成12年の2.47人から2.38人と0.09人減少している。

世帯の推移

	一般世帯数	一般世帯人員	1世帯当たり人員
昭和50年	259,613	788,869	3.04
55	273,404	809,194	2.96
60	281,430	816,753	2.90
平成2年	288,577	800,258	2.77
7	302,868	794,674	2.62
12	319,298	790,075	2.47
17	323,327	770,781	2.38

一般世帯数及び1世帯当たり人員の推移



(2) 家族類型別世帯数

世帯の家族類型をみると、核家族世帯は183,673世帯(一般世帯の56.8%)で、このうち夫婦のみの世帯は68,725世帯(同21.3%)、夫婦と子供から成る世帯は82,869世帯(同25.6%)となっている。また、単独世帯は102,702世帯(同31.8%)となっている。

世帯の家族類型別世帯数

		一般世帯数	一般世帯人員	親族人員
総数		323,327	770,781	768,473
親族世帯数	核家族世帯	183,673	515,630	515,088
	夫婦のみの世帯	68,725	137,532	137,450
	夫婦と子供から成る世帯	82,869	302,206	302,055
	男親と子供から成る世帯	4,889	11,509	11,371
	女親と子供から成る世帯	27,190	64,383	64,212
	その他の親族世帯	35,429	149,363	149,160
	非親族世帯	1,523	3,086	1,523
	単独世帯	102,702	102,702	102,702
(再掲) 母子世帯		6,392	16,886	16,886
父子世帯		900	2,336	2,336

(注) 母子(父子)世帯: 未婚、死別又は離別の女親(男親)と、その未婚の20歳未満の子供のみから成る一般世帯(他の世帯員がないもの)

(3) 高齢者世帯

65歳以上の高齢親族のいる世帯は、136,325世帯(一般世帯の42.2%)で平成12年に比べ7,948世帯増加している。うち「一人暮らし高齢者」(65歳以上の単独世帯)は40,918世帯(65歳以上親族のいる一般世帯の30.0%)、高齢夫婦世帯は37,368世帯(同27.4%)となっている。

65歳以上の親族のいる一般世帯

	一般世帯数	65歳以上の親族のいる一般世帯			うち高齢単身世帯		うち高齢夫婦世帯	
		世帯数	率(%)	65歳以上の親族人員	世帯数	率(%)	世帯数	率(%)
昭和60年	281,430	86,960	30.9	110,988	18,035	20.7	16,452	18.9
平成 2年	288,577	99,037	34.3	130,178	23,106	23.3	21,930	22.1
7	302,868	114,616	37.8	155,937	28,946	25.3	28,922	25.2
12	319,298	128,377	40.2	177,960	35,620	27.7	35,071	27.3
17	323,327	136,325	42.2	189,748	40,918	30.0	37,368	27.4

(注) 高齢夫婦世帯: 夫が65歳以上、妻が60歳以上の夫婦1組の一般世帯

### 3 住居の状態

住宅の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は66.0%で、平成12年に比べ0.4ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の1世帯当たり延べ面積は、平成12年の91.5㎡から92.3㎡と広がっている。

一般世帯の持ち家率および1世帯当たりの住宅の延べ面積

	住宅に住む 一般世帯数	持ち家		1世帯当たり 延べ面積 (㎡)	うち持ち家 (㎡)
		うち	持ち家率 (%)		
平成2年	284,816	195,089	68.5	82.6	100.6
7	299,595	202,268	67.5	85.2	105.3
12	315,465	209,503	66.4	91.5	113.7
17	320,500	211,512	66.0	92.3	114.8